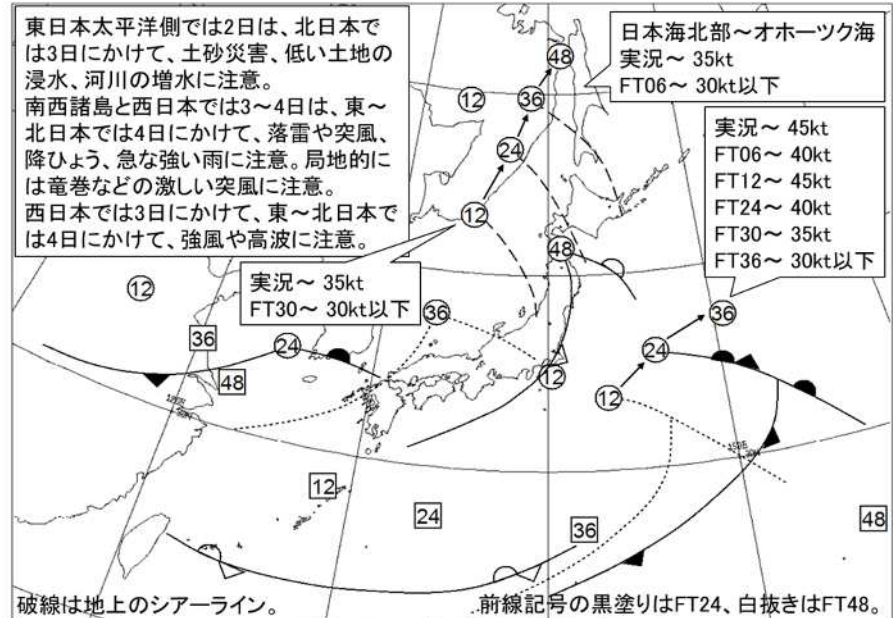


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa5460m付近のトラフに対応し日本海に低気圧があって、北東進。地上のシアーラインが東日本日本海側にのびている。
- ② 500hPa5640m付近のトラフに対応し東海道沖に低気圧があって、東北東進。東日本太平洋側では、雷を検知し局地的に1時間に30～50mmの激しい雨や非常に激しい雨を解析している所がある。また、静岡県に竜巻注意情報を発表。
- ③ 500hPa5700m付近のトラフに対応し日本の南に前線を伴った低気圧があって、東北東進。



主要じょう乱解説図

- ④ 500hPa5520m付近のトラフに対応し華北に低気圧があって、南東進。
- ⑤ ①や②の低気圧やシアーライン周辺では気圧の傾きが大きくなっており、西～北日本ではやや強い風や強い風が吹き、波が高くなっている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、3日夜にはサハリン付近へ進み、シアーラインが3日にかけて東～北日本を通過する。また、1項②の低気圧は、2日夜には伊豆諸島付近に進む。シアーラインや低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、上空寒気の影響が加わり大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴って激しい雨が降り大雨となる所がある。東日本では2日は、北日本では3日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項④の低気圧は、前線を伴って3日夜は日本海、4日は北日本へ進み、前線が3～4日に西～北日本を通過する。前線や低気圧に向かって850hPa θ e309K以上の下層暖湿気が流入し、上空寒気の影響が加わり大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴って強い雨の降る所がある。西～北日本では4日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 500hPa5820mの正渦度移流に伴い、4日は前線が先島諸島付近から日本の南に顕在化する。前線に向かって850hPa θ e336K以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となり雷を伴って強い雨の降る所がある。南西諸島では3～4日は、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ④ 1項③の低気圧は、3日にかけて日本の東を北東進する。この前線や低気圧、および2項①や②のシアーラインや前線、低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなりけとなる所がある。西日本では3日にかけて、東～北日本では4日にかけて、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本とするが、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時から24時間)：北海道100mm。

② 波浪(明日まで)：関東5、北海道・東北・伊豆諸島4m、東海・近畿3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。